

キャラクター名	プレイヤー名
テオドール・フロスト	

メインクラス	アコライト	Lv.1:		レベル	6
サポートクラス	メイジ	Lv.1:	セージ	性別	男
称号クラス				年齢	17
種族	ヒューリン			境遇	略奪
出自 (効果)	闇の一族			目標	無目的

	筋力	器用	敏捷	知力	感知	精神	幸運
基本値	12	13	9	14	9	19	9
ボーナス	4	4	3	4	3	6	3
クラス修正	0	1	0	2	1	2	0
他修正							
能力値	4	5	3	6	4	8	3

HP	57
MP	75
フェイト	5

装備品		射程	命中	攻撃	回避	物防	魔防	行動	移動
右手	ホーリーシールド		0	0	0	6	1	-1	0
左手									
頭部	ハット					1			
胴部	レザージャケット					4			-1
補助	ファインポイントアーマー				-1	5			
装身具	高位聖印								
能力値			5	0	3	0	8	7	9
スキル									
その他									
総計(右)			5	0					
総計(左)			5	0	2	16	9	6	8
総計(両)									m
ダイス数			2 d	2 d	2 d				

	能力値	スキル	その他	合計	ダイス数
トラップ探知	4			4	+ 2 d
トラップ解除	5			5	+ 2 d
危険感知	4			4	+ 2 d
エネミー識別	6			6	+ 3 d
アイテム鑑定	6			6	+ 2 d
魔術判定	6			6	+ 2 d
呪歌判定	8			8	+ d
錬金術判定	5			5	+ d

所持品	
ベルトポーチ	
バックパック	
MPポーション*7+3	
冒険者セット	
聖印	

現在重量：	16	所持金：	9615	預金・借金：	
最大重量：	19				

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
オールラウンド	★	-	パッシブ	-	自身	-		
効果：	キャラ作成時に任意の3つの能力基本値+1							
プロテクション	5	3	DR後	20m	単体	自動	1/MP	
効果：	対象が受ける予定のダメージに-[SLd]							
ヒール	1	4	Xジャー	20m	単体	魔術		
効果：	対象の【HP】を[3D+CL*3]回復							
エフィシエント	5	-	パッシブ	-	自身	-		
効果：	ダイスで求める魔術の効果に+[SL*2]							
エンサイクロペディア	1	-	セット	-	自身	自動		
効果：	行動済にならずエネミー識別を行う							
インボーク	1	6	Xジャー	20m	単体	魔術		
効果：	シーン終了まで対象の回避判定に+1D							
コンコーダンス	1	-	パッシブ	-	自身	-		
効果：	「対象：場面」「射程：視界」のすべてにエネミー識別を行える							
ウィークポイント	1	8	セット	20m	SL体	知力		
効果：	ラウンド終了までエネミー識別に成功したSL体の対象のリアクションに-1D							
マジックブラスト	1	4	マイナー	-	自身	自動		
効果：	そのラウンドで使用する「タイミング：メジャーアクション」「対象：単体」の魔術を「単体：範囲(選択)」に変更							
コンセントレイション	1	-	パッシブ	-	自身	-		
効果：	魔術判定に+1D							
アフエクション	1	-	DR後	20m	単体	自動	1/ソ	
効果：	対象が受ける予定のダメージを0に変更							
クイックヒール	1	5	インフラ	-	自身	自動	1/ソ	
効果：	行動済にならず《ヒール》を同時に使用する							
シックスセンス	1	-	パッシブ	-	自身	-		
効果：	奇襲攻撃時判定に-1Dされることなくリアクションを行える							
ファーストエイド	1	-	Xジャー	至近	単体	器用		
効果：	難易度10で戦闘不能と【HP】を1回復							
マジカルハーブ	1	-	パッシブ	-	自身	-		
効果：	SLが1ならば3個のMPポーションを取得							

「教会に放火したことがあるアコライト」

閉塞的な村で西方ニンジャの一族として生まれる。テオドールもまた幼い頃から一族の一員として育てられた。九歳の時、村の近くで偶然にも冒険者と出会ったことで、彼の運命は変容する。村の外を知らなかったテオドールは、冒険者の話を聞く中で次第に外の世界への興味を抱いていく。しかし彼の一族はそれを許さなかった。連日その冒険者の元へ通っていたテオドールを怪しんだ村の者達が、彼の後を付けて冒険者を視認する。テオドールが村へ帰ると、そこでは村の者達が大量で待ち構えており、彼は拘束される。何をしていただのかと尋問されるが、その回答はあつてないようなもので、否定するテオドールの声には耳を傾けず、彼等は一族の術が漏洩された可能性があるとして、次の日には前日と同じ場所でテオドールを待っていた冒険者を殺害。そしてテオドールは村の端の小さな教会で、以後ある事件の日まで軟禁生活を送ることになる。

Q. ある事件って？
A. 十五の夜に盗んだ火種でバーニング。

教会から火煙が立ち上がり、崩れ落ちていく中を必死に脱出。騒ぎに乗じて村から逃げ出す。その時に顔の右半分には大きな火傷を負う。酷く爛れていて見れたものではないが、彼自身は大して気にしていない。村を抜け出した後はアコライトとして土地を転々としながら何とか食い繋いでいる。

テオドールは神に対して他の聖職者ほど信心を抱いていない。

